

校長あいさつ

宮城県立利府支援学校のホームページに、ようこそおいでいただきました。

利府支援学校は、宮城県仙台市の北東に隣接している宮城郡利府町にあります。校舎は高台にあり、利府町の名産品である梨の畑やJR東日本の新幹線総合車両センターを眼下に見ることができます。また、学校の近くを東北新幹線や三陸・仙台北部自動車道が通っています。

利府支援学校は、平成元年4月1日に宮城県立利府養護学校として独立開校し、その後平成21年4月1日に校名を宮城県立利府支援学校と変更いたしました。仙台市の一部、塩竈市、多賀城市、富谷市、大和町、大郷町、大衡村、利府町、松島町、七ヶ浜町の4市5町1村を通学区域とする知的障害のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。

児童生徒数の増加に伴う過密化・狭あい化対策、交流及び共同学習の推進等を目的とした県の教育環境整備計画に基づき、平成23年4月1日に、大和町、富谷町（現富谷市）、大衡村、仙台市泉区の一部の小学部児童を対象に、富谷町立富ヶ丘小学校内に、分校として宮城県立利府支援学校富谷校を開校いたしました。

さらに、平成29年4月1日に、塩竈市、松島町、七ヶ浜町の小学部児童を対象に、塩竈市立第二小学校内に、二つ目の分校として宮城県立利府支援学校塩釜校を開校いたしました。

平成29年度は、本校が小学部50人、中学部70人、高等部116人、富谷校の小学部29人、塩釜校の小学部が4人となり、合計269人の児童生徒が、学習活動に取り組んでいます。

友だちや教職員、地域の学校や地域の方々との活動をとおして、様々なことを感じたり考えたり、いろいろな経験をしながら、一人一人がそれぞれに輝く姿を見せていくことを願っています。

利府支援学校では、本校と両分校間での連携を密に図りながら、運動会、学校見学会、利府支援バザー、学習発表会、校外販売会等の行事を公開しておりますので、地域の皆様や関係機関の方々をはじめとする多くの皆様が、ご来校くださいますようご案内申し上げます。

また、教育・保健福祉・労働等の関係機関との連携の推進を図るとともに、様々な相談、研修や情報提供等をとおして、特別支援学校のセンター的機能の発揮に努めてまいります。

結びに、東日本大震災に際しましての全国特別支援学校知的障害校長会及びPTA連合会等からの心温まるご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも本校の教育活動の推進に対しまして、ご理解ご支援をお願い申し上げますといたします。

宮城県立利府支援学校

校長 田嶋 容一